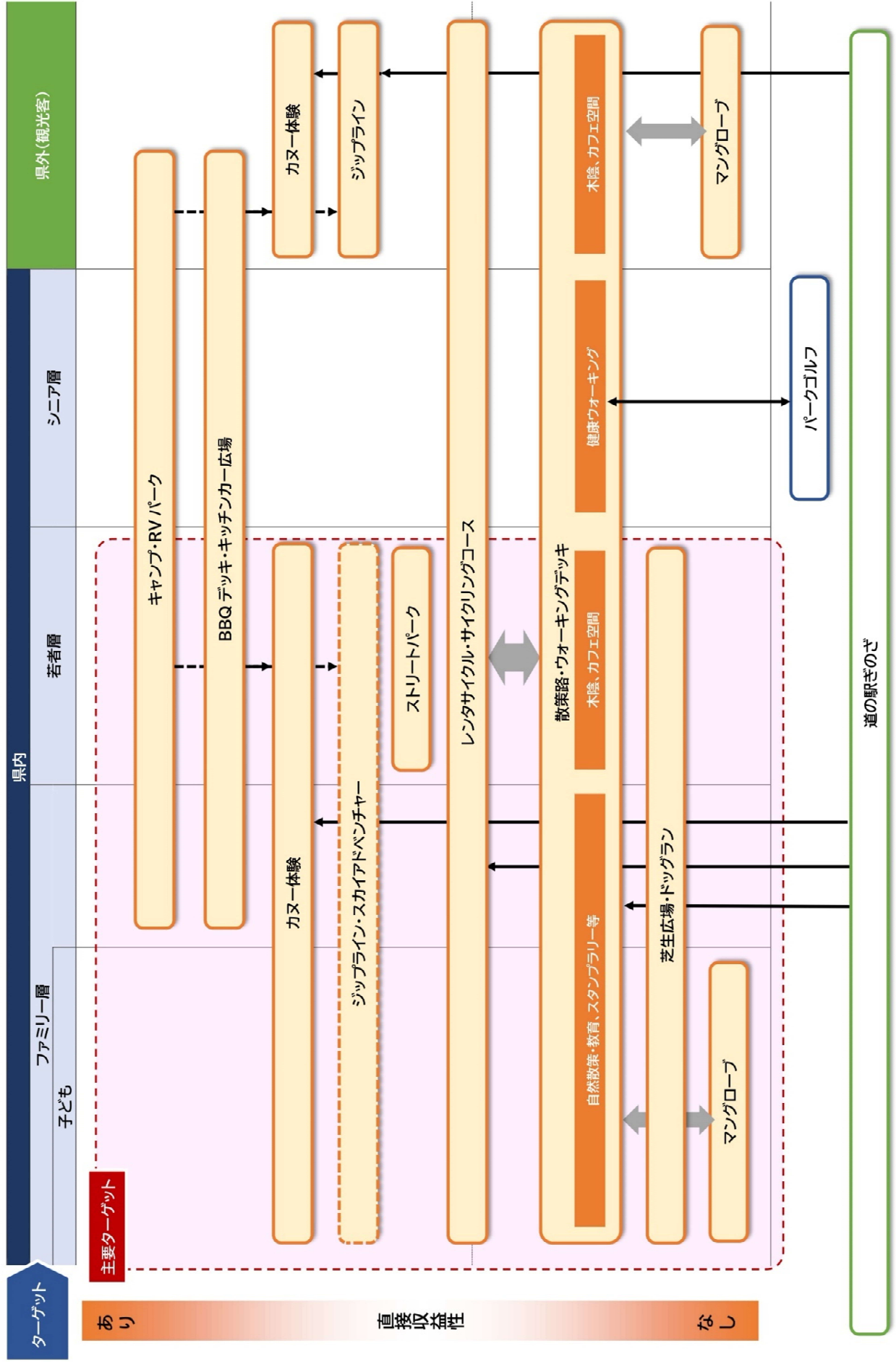


■ 事業者ヒアリング結果を踏まえたターゲット分析



## 7. 施設計画

### 7-1. ゾーニング計画

想定される導入機能をもとに、道の駅や観光交流施設との連携、周辺の施設・自然環境の状況、土地の所有状況等を踏まえ、3つのゾーニング計画を提案する。

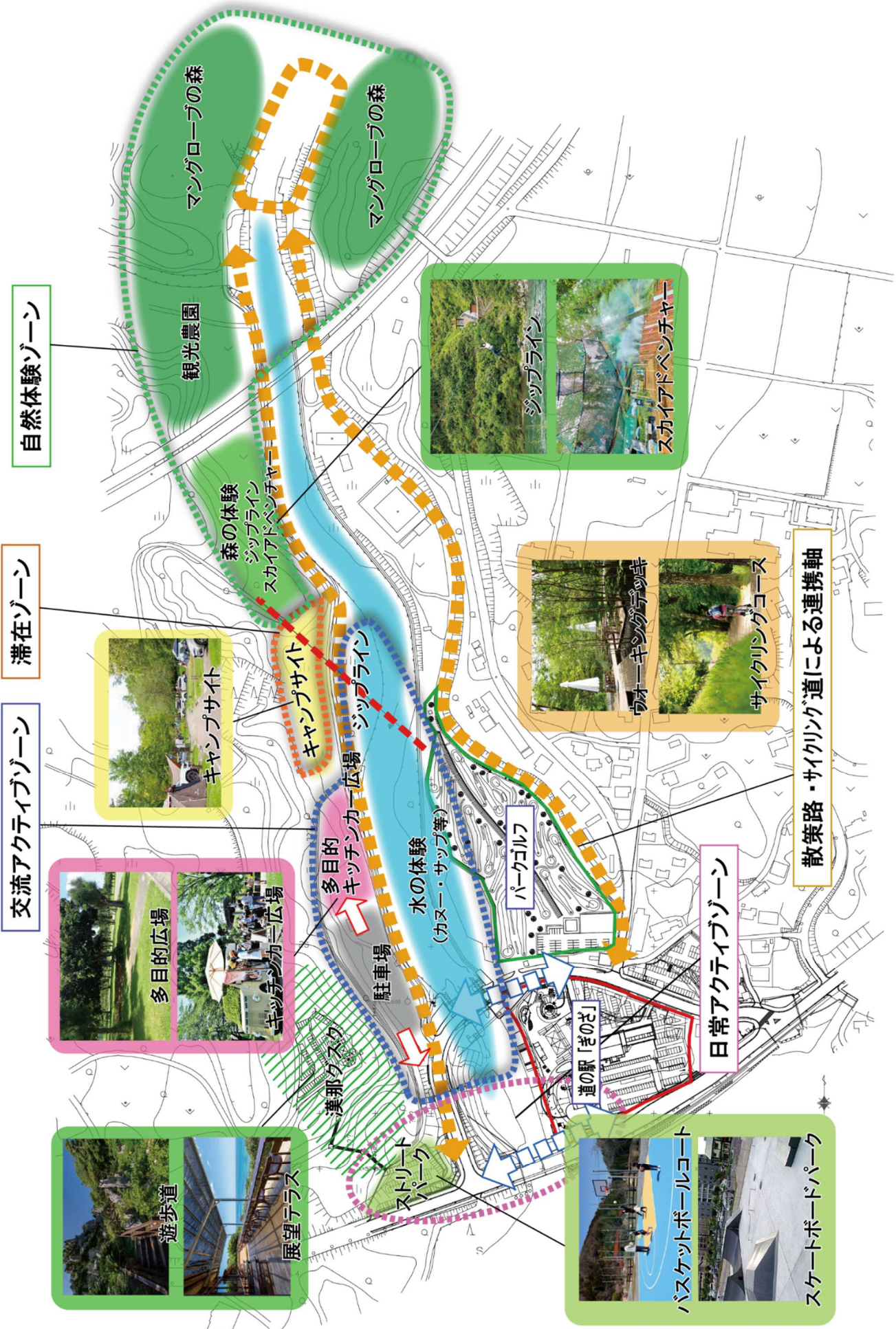
ゾーニング計画の視点として、日常から非日常への変化をもたらす「A案：多世代アクティブパターン」、自然環境を活かし子どもから大人へのターゲットの変化をもたらす「B案：水辺環境活用パターン」、道の駅との役割分担により新たな県内ニーズを生み出す「C案：体験・滞在重視パターン」について、それぞれのゾーニングの考え方と導入機能を整理し、施設配置計画を提案する。

<b>A:多世代アクティブパターン</b> 《日常から非日常への変化をもたらす計画》	
<b>ゾーニングの考え方</b>	<p>○道の駅・観光交流施設から、漢那ダムまでの福地川沿いに散策路・サイクリングコースを整備し、子どもの教育やスタンプラリーによる回遊、レンタサイクルによるサイクリングツアーと連携した活性化を図る</p> <p>○道の駅の休日の食や駐車場の不足を多目的(芝生・ドッグラン等)、キッチンカー・BBQ広場で補完し、自然体験を連携した新たな交流を生み出す。また、広場と民間キャンプサイト・RVパークを連携する。</p> <p>○日常のアクティブとして、ストリートパークを設置し、若者をターゲットとした新たなニーズ・集客を高める。</p> <p>○県内の来訪ニーズを想定するが、県外の観光客等のニーズをいながら、ジップライン、スカイアドベンチャー等のアクティブ機能を整備する。</p>
<b>導入機能</b>	<p>【交流アクティブゾーン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水の体験(カヌー、サップ等) &lt;支出:少、収入:中&gt;</li> <li>・多目的広場 &lt;支出:少、収入:少&gt;</li> </ul> <p>【日常アクティブゾーン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストリートパーク &lt;支出:中、収入:少&gt;</li> </ul> <p>【滞在ゾーン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンプサイト &lt;支出:少、収入:中&gt;</li> </ul> <p>【自然環境体験ゾーン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジップライン、スカイアドベンチャー &lt;支出:多、収入:中&gt;</li> <li>・観光農園 &lt;支出:多、収入:中&gt;</li> </ul>

B:水辺環境活用パターン 《子どもから大人へのターゲットの変化による計画》	
ゾーニング の考え方	<p>○道の駅・観光交流施設から、漢那ダムまでの福地川沿いに、ウォーキングで周遊できるようにし、子どもの教育やスタンプラリーにより、水辺環境を体験できる環境を整備する。</p> <p>○道の駅の「ぎ～のくんランド」から子どもの流れを意識し、多目的広場(子どもターゲット)、キャンプサイト(ファミリーターゲット)、RV パーク(大人ターゲット)の順に配置する。</p> <p>○多目的広場やキャンプサイト、RV パークの駐車場は山側に配置し、福地川沿いの親水空間を活用できるように配置する。</p> <p>○ビーチパークとして活用し、夏季の子ども・若者の集約を高める。</p> <p>○県内の来訪ニーズを想定するが、県外の観光客等のニーズをいながら、ジップライン、スカイアドベンチャー等のアクティブ機能を整備する。</p>
導入機能	<p>【水辺体験ゾーン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水の体験(カヌー、サップ等) &lt;支出:少、収入:中&gt;</li> <li>・ビーチパーク &lt;支出:多、収入:中&gt;</li> </ul> <p>【日常アクティブゾーン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的広場、キャンプサイト &lt;支出:少、収入:中&gt;</li> </ul> <p>【滞在ゾーン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・RV パーク、(キャンプサイト) &lt;支出:少、収入:中&gt;</li> </ul> <p>【自然環境体験ゾーン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジップライン、スカイアドベンチャー &lt;支出:多、収入:中&gt;</li> <li>・観光農園 &lt;支出:多、収入:中&gt;</li> </ul>

<b>C:体験・滞在重視パターン</b> <b>《道の駅との役割分担により新たな県内ニーズを生み出す計画》</b>	
<b>ゾーニング の考え方</b>	<p>○日常のアクティブや活動を生み出す道の駅・観光交流施設との役割を明確にし、リバーパークは非日常的な体験を中心としたゾーニングとする。</p> <p>○漢那ダムまでの福地川沿いを中心に、食・遊ぶ体験ゾーン、スポーツ体験ゾーン、滞在ゾーンを配置し、滞在・滞留時間の増加と道の駅と連携した消費拡大を目指す。</p> <p>○カヌーやサップ等の水辺を活用した体験とともに、ウォーキングで周遊できるようにし、子どもの教育やスタンプラリーにより、水辺環境を体験できる環境を整備する。</p> <p>○県内の来訪ニーズを想定するが、県外の観光客等のニーズをいながら、ジップライン、スカイアドベンチャー等のアクティブ機能を整備する。</p>
<b>導入機能</b>	<p>【食・遊ぶ体験ゾーン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的広場&lt;支出:少、収入:少&gt;</li> <li>・BBQ・キッチンカー広場&lt;支出:中、収入:中&gt;</li> </ul> <p>【スポーツ体験ゾーン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストリートパーク&lt;支出:中、収入:少&gt;</li> <li>・ビーチパーク&lt;支出:多、収入:中&gt;</li> </ul> <p>【滞在ゾーン】 ・キャンプサイト&lt;支出:少、収入:中&gt;</p> <p>【水辺体験ゾーン】・水の体験(カヌー、サップ等)&lt;支出:少、収入:中&gt;</p> <p>【自然環境体験ゾーン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジップライン、スカイアドベンチャー&lt;支出:多、収入:中&gt;</li> <li>・観光農園&lt;支出:多、収入:中&gt;</li> </ul>

パターンA:多世代アクティブパターン《日常から非日常への変化をもたらす計画》



自然体験ゾーン

滞在ゾーン

交流アクティブゾーン

日常アクティブゾーン

散策路・サイクリング道による連携軸



パターン B:水辺環境活用パターン「子どもから大人へのターゲットの変化による計画」

